



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



記事「看護フェスティバル2014」は3ページに掲載。

第45号 目次

特集	—医師が語る疾患—	1
第4回	虚血性心疾患の非薬物治療 循環器内科編 循環器科部長 森 文章	
行事紹介		
第12回	糖尿病フェアについて	2
看護フェスティバル	2014	3
公開医療講座	について	3
連載	職員リレー紹介	
第4回	緩和ケア	4
お知らせコーナー		5
	看護学生募集	
	防災訓練実施しました	
病診連携施設紹介		6
	担当医表／編集後記	7



発行 月：平成26年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：工藤 一大
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 FAX : 045-851-3902
 URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

第4回 虚血性心疾患の非薬物治療 循環器内科編

循環器科部長 森 文章



冠動脈疾患の治療が、薬剤溶出ステント (DES : Drug Eluting Stent) の登場により大きく変わりました。今回は、狭心症や心筋梗塞の非薬物治療の変遷とこれからについて概説します。

狭心症や心筋梗塞の治療

冠動脈は、心臓の筋肉 (心筋) に酸素や栄養を運んでいる血管です。その冠動脈が動脈硬化で狭くなると、心臓を動かしている筋肉へ酸素がうまく運ばれず胸が苦しくなります。これが狭心症です。また冠動脈が詰まって (閉塞して) 酸素が運ばれなくなってしまうと心筋が死んでしまいます。これが急性心筋梗塞です。急性心筋梗塞は、突然発症し、死亡率が15~20%もある非常に怖い病気です。これら冠動脈疾患の治療のひとつに、「経皮的冠動脈形成術 (PCI)」があります。動脈からカテーテルと呼ばれる管を入れて心臓まですすめ、カテーテルを介して狭窄したり、閉塞している冠動脈を拡げ、流れを良くする治療です。

経皮的冠動脈形成術の歴史

経皮的冠動脈形成術は、1977年にGruenzigにより初めて行われました。当時は、風船 (バルーン) で狭くなった冠動脈を単に拡げるだけでした。そのため冠動脈が傷ついたままうまく拡がらず、逆に閉塞して急性心筋梗塞になったりしてしまうことがたびたび起こりました。また、せっかくうまく拡げて狭心症が良くなっても、半年後に約40%以上の人で拡げた血管がまた狭くなる再狭窄が起こりました。1994年からは、冠動脈ステントが使用できるようになりました。ステントというのは金属の網目状のチューブで、バルーンにより拡げた冠動脈に留置し、血流を確保するものです。このステントによりバルーンをみの治療

よりも格段に安全性が高くなりました。しかし、再狭窄の問題はどうしても克服することができず、20~30%の再狭窄を防ぐことができませんでした。

再狭窄の問題を克服した夢のステントの登場

2004年からカテーテル治療の大きな問題であった再狭窄が5%から10%程度という画期的なステントが登場しました。それが薬剤溶出ステント (DES) です (図1から3)。

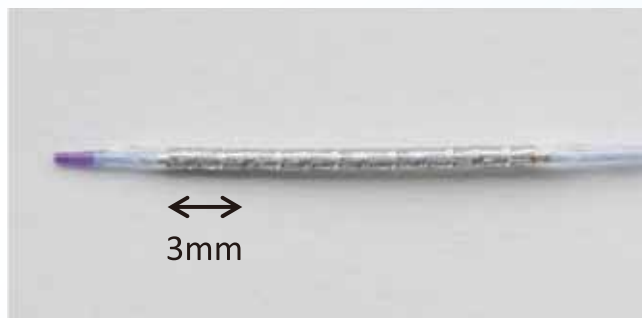


図1 バルーンにマウントされたステント

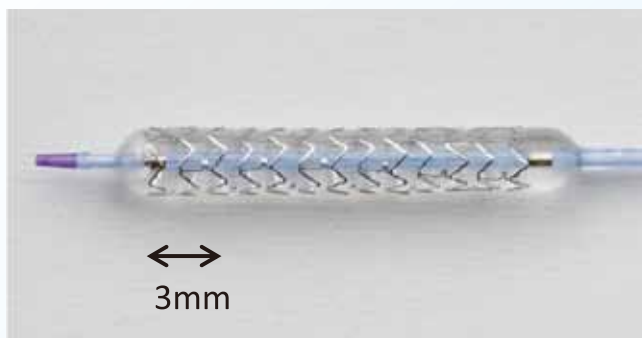


図2 病変にすすめ、外からバルーンを膨らませステントを拡張させる

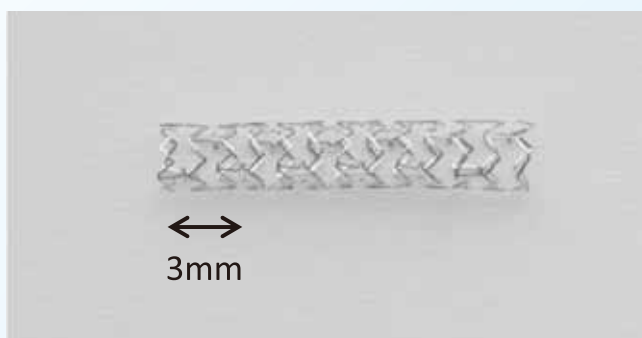


図3 拡張したステントは血管に圧着し留置される。その後薬剤が一定期間放出され再狭窄を抑える

再狭窄は、物理的に拡げることで傷ついた血管の内膜が、傷を修復しようとして細胞が増殖するためにおこります。DESはステント自体に免疫抑制剤などの薬剤が塗りこんであり、その薬剤が一定期間ステント自体から溶け出し、新しい細胞増殖を抑え、再狭窄を防ぐのです。当初、使用された第一世代DESは、再狭窄は確かに押さえたが、ステントの再内皮化にむらがあり、遅発性のステント血栓症という問題が発生し、血栓を抑える抗血小板薬を長期間服用するというデメリットを抱えました。その後2009年より第二世代のDESが登場しました。こ

のステントは第一世代DESに比べてさらに再狭窄が少なく（3～5%程度）、また遅発性の血栓症もほぼなくなりました。直近の5年間非常に良好な成績が得られています。

経皮的冠動脈形成術の今後

ステント再狭窄や、血栓症の問題はある程度まで解決されてきました。今後は、一定期間がすぎると消失する生体吸収型のDESなど、様々な新しいステントも登場してきます。現在よりも、一人一人の患者さんの病態にあった冠動脈治療が行えるようになると思います。

行 事 紹 介

第 12 回糖尿病フェアについて

糖尿病チームケアユニット 栄養管理室 矢ヶ崎 栄作



5月20日火曜日10時～12時に当院の正面玄関ホールの一部と外来の一部を使って盛大に行われました。

当院の糖尿病チームケアユニットのメンバーは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士からなり総勢59名おります。当日は、そのうちの一部のメンバーが担当しました。

フェアでは診療部：血圧測定・医療相談、看護部：フットケア・体脂肪測定・めだまんず、薬剤科：お薬相談・新薬の掲示、リハビリテーション科：運動方法・筋力トレーニング、臨床検査科：血糖測定、栄養管理室：栄養相談と充実した内容を実施し、患者さんは診察前の待ち時間や診察後にスタンプリカードを持ってそれぞれをまわりました。フェアをとおして糖尿病への理解と興味が深まった患者さんが多く、とても有意義なイベントでした。



行事紹介

看護フェスティバル 2014

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 鈴木 雪子

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」と制定されています。当院でも看護の日のイベントとして、地域の皆様や通院・入院中の患者ご家族さんに、専門・認定看護師の活動や看護外来をPRする目的で、5月15日に看護フェスティバルを開催いたしました。



ハンドケア、手洗い指導、心臓マッサージ、AEDの使い方、健康相談など、延べ120名参加があり、「貴重な体験をさせてもらった」「これからもこのような取り組みを続けてほしい」と感想をいただきました。

当院には、現在10分野12名の専門・認定看護師がいます。これからも地域の皆様に選ばれる病院となるよう、専門的な知識・技術を活かしてそれぞれの分野で活動していきたいと思っております。

専門・認定看護師 分野	人数
がん看護専門看護師	1
急性・重症看護専門看護師	1
感染管理認定看護師	1
皮膚排泄ケア認定看護師	3
緩和ケア認定看護師	1
がん性疼痛看護認定看護師	1
がん化学療法看護認定看護師	1
救急看護認定看護師	1
摂食・嚥下障害認定看護師	1
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1

公開医療講座について

地域中核連携室長 奥津 正仁

3月9日(日)、横浜看護学校において、ケアタウン小平クリニック院長の山崎章郎先生をお招きして、「在宅緩和ケア」をテーマに医療講座を開催しました。

山崎先生は、「住み慣れた地域の中の、住み慣れたお住まいで、最期まで療養を続けたい」とご希望される患者さんを支えるための活動を続けられています。患者さんが尊厳と自立（自律）をもって暮らせることを目指す先生のお話、参加者は聞き入っていました。



次回の医療講座は、「がんの診断と集学的治療～膵がんを例に」をテーマに開催します。関戸統括診療部長が講師を務め、最近のがん診療についてご紹介します。

○日時 8月28日(木) 15時から16時30分

○会場 戸塚区役所3階多目的スペース(大)

○申し込み 8月11日(月)から電話で横浜医療センターへお申し込み下さい。

(電話045-853-8357) 先着180人。

第4回 緩和ケア

がん看護専門看護師 日塔 裕子

こんにちは。私たちは緩和ケアチームです。

皆様は「緩和ケア」と聞いて、どのような印象をお持ちでしょうか？もしかしたら、「最後に受ける医療」と思っているかもしれません。以前は“治らない人、末期状態の人”のみが受ける医療とされていたこともありました。しかし現在緩和ケアとは、「がんと診断された時から開始」され「患者やその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア」と位置付けられています。一言で表現すると「生活・人生の質の向上」を目指す医療と言っても良いかもしれません。当院でも、がんに伴う患者さんの気持ちと体の辛さが和らぐように、色々な職種（医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、ケースワーカー）で構成された緩和ケアチームで支援しています。例えば「抗がん剤治療の副作用で食事が摂れない」というような治療に伴う症状、また、「心配で眠れない」「悲しい気持ちが続く」など気持ちの辛さ、「痛みがある」など色々な心身の辛さに対応しています。緩和ケアチームでは心身の症状だけではなく、療養生活の中で生じる様々な問題（自宅で生活しづらい、高額な医療費）等の相談も受けています。

緩和ケアは当院で治療を受けている方は入院・外来問わず、ご本人・ご家族、誰でも受けることができます。がんに伴う悩みや辛さがありましたら、気軽に「緩和ケアを受けたい」と主治医や看護師に伝えてください。どのようなケアが受けられるか具体的に知りたい方は、地域医療連携室内の「がん相談支援センター」のスタッフに声をかけてください！私たち緩和ケアチームのスタッフは、がん患者さんにご家族に寄り添いながらお手伝いしていきます。



お知らせコーナー

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校
～学校説明会 お申し込み受付中!!～

- 受付：9時～9時30分
- 説明会：9時30分～12時30分



★お電話、Mailで、
事前にお申し込み下さい

第1回	終了	6月 7日(土)	【公開講座】
第2回	終了	6月28日(土)	
第3回	終了	7月 5日(土)	【公開講座】
第4回		7月19日(土)	
第5回		8月25日(月)	【公開講座】
第6回		9月20日(土)	
第7回		10月25日(土)	【学校祭】
第8回		平成27年3月7日(土)	

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2
【問合せ】TEL：045（853）8322
【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



防災訓練を実施しました

教員 團 たまみ

横浜看護学校では6月4日に、学生・職員全員が参加し、防災訓練を行いました。

当日は、横浜市消防局戸塚消防署大正出張所のみなさんのご指導の下、避難訓練や初期消火訓練、煙ハウスの体験を行いました。

また、業者の方に学校に設置している緩降機の使用方法をご指導いただきました。

避難訓練では昨年の反省点を生かし、スピーディな避難や階段付近の混雑解消に取り組みました。避難の際、階段で混雑し前に進めず困惑した場面も見られましたが、全体的にはスムーズに避難場所まで避難することができました。また、お互い声を掛け合い点呼をとり、所在確認を行っていました。初期消火や煙ハウスの体験を行い、実際の火災の場面を想定し行動することの難しさについて考えることができていました。

1年生にとっては入学後2か月ほどしかたない中での避難訓練でした。しかし避難訓練での振り返りでは、どの学年も自分自身が避難することと共に、看護師として働き始めた時には、患者さんとともに避難するのだということを考えることができていました。今後も防災への意識を低下させないように、日常生活の中から災害対策に取り組んでいきたいと思っております。



病診連携施設紹介

戸塚西口さとう内科

初めまして。院長の佐藤孔信です。当院の専門は生活習慣病である糖尿病や高血圧です。生活習慣病の専門ということで、薬のみではなく生活習慣の改善により病状の安定を目指しています。「治療がうまくいくこと」と「患者さんが満足すること」を私たち職員は常に話し合い相談し、患者さんに安心と安全を提供できるベストな対応を試行錯誤しております。



向かって右から4人目が佐藤院長

来ていただいた患者さんに、
「薬の量が減ったのに体が軽くなって調子が良い。」
「職員の顔を見ると安心する。」
「安心させてくれたから症状がなくなったのよ。」
「対応が早かったから、うれしい。」などのうれしい報告も頂くことがあり、その時にはわたくしども職員は幸せな気分させていただいています。そのお返しとして、もっと良い医療を提供したいとも考えています。まだまだ、開業して3年目です。今後さらなる進歩を目指しております。

できれば、患者さんとは
「またきたよ。」「〇〇さん、こんにちは。受付させていただきます。」「先生、職員の顔を見ると安心するから、たいしたことないのに来ちゃったよ。」のような関係が築ければと考えています。

また、どうしても仕事が忙しくクリニックに受診することが難しい患者さんもいらっしゃいます。休み時間中来院される方もいらっしゃいます。できるかぎり患者さんの都合に合わせて素早い対応ができることも考えております。薬が途切れることがないように、できるだけ定期通院することが大事なので、病状の許す範囲で通院間隔を長くすることもあります。

横浜医療センターには緊急入院の対応や、糖尿病 腎臓病の精密検査を依頼することも多く非常にお世話になっております。

勉強会も頻回に行っていて、最新の知識を教えていただける機会を設けていただき感謝しております。

また、医療センターの先生方には個人的にも趣味のテニス等のスポーツをご一緒させていただくこともあり、仲良くさせていただいきありがとうございます。



戸塚西口さとう内科

〒 244-0003
横浜市戸塚区戸塚町5056番地4アスクレピオス戸塚3F
TEL : 045-869-5885

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	/	● [*]	●	/
午後 14:30~18:30	●	●	●	/	●	/	/

休診日 木曜・日曜・祝日

※土曜日の診療時間は9:00~13:00です。

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考		
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 山崎 博子 小野塚 友里	福山 敏子 西山 邦幸	小林 慈典 大杉 康司 松丸 佳世	鈴木 陽一 矢竹 曜子 中山 彰	塩谷 裕美 伊藤 寛容 林 裕介		
	心臓血管外科 形成外科	益子原 幸宏	休診日(手術日)	東館 雅文	※東館 雅文 村下 一男	東館 雅文 村下 一男	※木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
	整形外科	瀧上 秀威 石ヶ坪 諒 仲 拓磨	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利	瀧上 秀威 高 倫浩 仲 拓磨	日塔 寛昇 上條 晃 伊藤 りえ	石ヶ坪 諒 上條 晃 高 倫浩		
			★瀧上 秀威			★日塔 寛昇	★: 予約患者のみ。	
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師		
	糖尿病内分泌内科	重松 絵理奈 ■小松 裕美子	重松 絵理奈	宇治原 誠 ◎藤井 梨絵	宇治原 誠	小松 裕美子	◎: Aブロックで診察。午前のみ。 ■: 午後の予約のみ ▼: Aブロックで診察。 初診には紹介状が必要。	
	神経内科	森原 啓介	山崎 舞子 ■園井 美紗子	上木 英人	岡本 光生 ■室橋 洋子	高橋 竜哉		
	腎臓内科	松下 啓	中野 雅友衛	小宮 麻里子	松下 啓			
	呼吸器内科	後藤 秀人 ■榎原 基史	▼榎原 基史	小嶋 亮太 ■須藤 成人	休診日(検査日) ■後藤 秀人	須藤 成人 ■小嶋 亮太		
	消化器内科	交代医師(初診)	田村 俊子(初診)	小松 達司(初診)	松島 昭三	野登 はるか ■小松 達司	小松 達司	
		塩原 康正	鈴木 大輔	松島 昭三	野登 はるか	小松 達司		
	循環器内科	森 文章 内田 吉枝	岩出 和徳 網代 洋一(午前)	田中 直秀 森田 紗恵	田中 直秀(午前)	岩出 和徳 ■森田 紗恵		
		初診: 交代(②)	初診: 田中 直秀	初診: 岩出 和徳	初診: 岩出 和徳	初診: 森 文章 出口 治子	◎: 第1・2週 田中 直秀、第3・4・5週 岩出 和徳 ※火曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
	リウマチ科	出口 治子	■出口 治子	休診日 (検査日)	宮城 理美子 ■出口 治子	■出口 治子 ■宮城 理美子		
	外科	清水 哲也 小笠原 康夫 山本 悠史	関戸 仁 松田 悟郎 齊藤 修治 太田 郁子	松田 悟郎 平谷 清吾 和田 朋子	関戸 仁 松田 悟郎 齊藤 修治 清水 哲也 和田 朋子	休診日 (手術日)		
		呼吸器外科		五来 厚生 野間 大智	五来 厚生 野間 大智	坂本 和裕 野間 大智 市川 輝夫	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、 直接ご連絡ください。 ③: 第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ④: 第1・3・5週 瓜生 康浩、第2・4週 谷野 慎 ◇: 脳ドックの詳細はPM2:00~5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。	
	脳神経外科	休診日 (手術日)	手術日	交代医師④	休診日 (手術日)			
	麻酔科(ペイン緩和)	伊藤 純子		田澤 利治		伊藤 純子		
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○: 予約外の診察には紹介状が必要です。		
	眼科	木村 正彦 熊代 俊	葉 桂子 熊代 俊	木村 正彦 熊代 俊	木村 正彦 葉 桂子	休診日 (手術日)	初診には紹介状が必要	
	泌尿器科	奥野 紀彦 大山 哲平	奥野 紀彦 若田部 陽司	休診日 (手術日)	奥野 紀彦 若田部 陽司	高田 治子 大山 哲平		
外来受付 D	皮膚科	宮田 駿子 船津 栄	宮田 駿子 船津 栄	宮田 駿子 船津 栄	宮田 駿子 船津 栄	宮田 駿子 船津 栄	水曜日は新患(要紹介状)のみとなります。 水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。	
	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査		
専門外来 (予約制)	精神科	鈴木 将裕 ■榎原 基史	戸代原 美央	古野 拓	吉田 晴久	土屋 美江 ■榎原 基史	※月～金: 初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(関係状・1日1名の予約制) 初診は本館の再診担当以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
	婦人科	折尾 裕 ■太田 幸秀	奥田 美加 鈴木 理絵	窪田 興志 奥田 美加	栗杉 輝彦 中口 芳恵	鈴木 理絵 折尾 裕	初診には紹介状が必要。地域連携室を通して完全予約制	
	産科	根岸 明秀 (再診のみ)	根岸 明秀 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	入院手術日 (再診) ※急患はご連絡ください。	根岸 明秀 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	根岸 明秀 赤津 千絵 (再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30~11:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診: 紹介状又は診療情報提供書を持参してください。 詳細については産科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (予約制)	小児科	アレキ-検査	腎臓外来(⑤)	アレキ-(塩谷)	フォローアップ外来 (福山)	アレキ-(内田)	⑤: 第1・3週(火)長濱	
		ケガシ(9~4月)(矢竹)	フォローアップ外来(矢竹)	アレキ-(宮地)	1ヵ月健診(交代医師)	神経外来(⑥)	⑥: 第1・3・5週(金)本井	
		感染免疫・アレキ-(小林)	アレキ-(鈴木)	手術後健診(交代制) 13:30-14:30	1ヵ月健診 (交代医師)	循環器外来(鈴木)	⑦: 第1・3週(月)感染免疫 伊藤	
		感染免疫(⑦) 内分泌(⑧)	アレキ-(山崎)	循環器外来 (鈴木)(月1回)			⑧: 第2・4週(月)内分泌 大杉	
	整形外科	骨髄外来(⑨)	骨髄外来(⑩)	手外科(⑪)	骨髄外来(⑨)		⑨: 毎週14:00~15:00(地域連携室を通しての完全予約制) ⑩: 毎週15:00~16:00、⑪: 毎週14:30~15:30	
		◎頭痛外来 摂食・嘔下外来 物忘れ外来					地域連携室を通して完全予約制 ◎: 第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嘔下外来)	
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来						
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来			
	感染症内科	感染症外来						
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来			
	外科		スキンケア外来 乳がん検診	スキンケア外来				
	耳鼻咽喉科				補聴器外来(午後)			
	皮膚科	血管炎外来						
	循環器科			パ-ス-カ外来	睡眠時無呼吸 症候群外来			
精神科	物忘れ外来				物忘れ外来	初診には紹介状が必要。地域連携室を通して完全予約制		
産婦人科	助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来			
	母乳外来(午後) ▽母親教室	母乳外来(午後)	▽母親教室	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)			
呼吸器外科				ア-ス-ト外来(坂本)		▽: 午後のみ。夫立急患室は第2・4週土曜日、第3週日曜日。 地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)		
放射線科	海津 久	向井 佑希	榎多 政治			9:00~11:00 地域連携室を通して完全予約制		

初診受付: 平日 8:30~10:00
再診(予約外)受付: 平日 8:30~10:00
休診日: 土曜・日曜・祝日・12月29日~1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

湿気の多い梅雨から日差しが強い夏へ、環境が大きく変わる季節ですね。
また、屋外ではうだるような暑さでも、屋内では震えるほどの寒さ、ということもあるのではないのでしょうか。
適度な水分補給や冷房の温度設定の見直し等で、乗り切りたいところです。
体調を崩しやすい時期ですので、気をつけて日々をお過ごしください。(Y. H)